



京町

地域を愛し、豊かな人生を歩む

ために学ぶ子どもの育成

《文責》 校長 小西 郁美

■学校行事を徐々に再開しています。

4月15日(金)に、1年生を迎える会ならびに歓迎遠足を行いました。この行事の目的は「1年生に京町小学校のことを知ってもらうこと」と「全校のみんなが、同じ学年や異なる学年の人とさらに仲良くなること」でした。風が強い日でしたが元気よく篠山城址まで歩きました。

篠山城址では、学年を超えて追いかっことをしたりするなど元気に遊ぶ姿が見られました。

帰るときには、「今日は楽しかったあ」という声がたくさん聞こえてきました。また、1年生の保護者の方々からも「とても楽しかったと言っていました」とお声をかけていただきました。

今後も子どもたちの笑顔があふれる京町小学校でありたいと強く思いました。



■地域に貢献できる学校をめざします

右の写真は、上記の遠足の際に、5年生が篠山城址のトイレの掃除をしている様子です。実は、遠足が終わった後にトイレ掃除をする必要があると思い、校長と教頭先生がトイレの前に待機をしていました。すると、5年生と先生が掃除道具を持って、トイレ掃除を始められました。短い時間でしたが、隅々まで行き届いた見事な掃除でした。

この姿を見て、出発前から最後にトイレ掃除をする予定で準備を整えていた担任の先生や子どもたちを頼もしく感じました。

このように、地域に貢献できる姿を広げていきたいと思えます。



■4年1組に新しい棚が設置されました。

令和4年度は4年生が1学級になることになり、4年生関係の皆様には大変ご心配をおかけしております。

教室の黒板と床の改修に続き、お子様の荷物を置く場所として3階のオープンスペースを整備しているところです。

4月20日(水)にオープンスペースに棚が移設され、ランドセルや習字道具などを置く場所ができました。オープンスペースの北側は施錠固定し、他学年の子どもたちが自由に入ることができないようにしています。





主計先生は、本年度から正式採用となり、学校用語では「初任者」の先生です。初任者の先生は1年間、毎週研修を受けます。

そのため1年1組には、毎週金曜日は拠点校指導員の川口秀樹先生が来られ、主計先生の授業を観察され、その後、授業についての検討会が行われます。授業の検討会が行われている時間は、野嶋文香先生が1年1組の授業を担当します。

このようにして、主計先生は子どもたちにとってよりわかりやすい授業を行うために授業技術を高めることができるよう研修を積んでいきます。

【主計先生が、先生になろうと思った動機を伺いました・・・】

以前に公文教室の助手をしていた時に、助手では「教える」ことができず、もどかしさを感じていました。その後、京町小学校でスクール・サポート・スタッフとして、子どもたちの授業の教材づくりなどのお手伝いをしました。その時に教材を作ることの楽しさや、子どもたちとお話をする楽しさを体験しました。この時期に、周囲の先生方から、教員免許は通信教育でも取ることができることを教えていただき、家族にも相談し、教員免許の取得に臨みました。

約2年間の通信教育での学習の間に、京町小学校で3週間の教育実習も行わせていただきました。昨年度の秋に、教員採用試験に合格し、その後は、講師として京町小学校へ勤務をし、本年度から正式採用として勤務を始めました。

教師としての毎日はとても楽しいです。1年1組の子どもたちとお話することとても楽しく、また、上級生が「〇〇の兄です」「〇〇の姉です」と声をかけてくれるのもとても楽しいです。

みんなと楽しい学校生活を送ることができるよう、がんばっていきます。

■卒業生も大活躍

令和3年度に本校を卒業した久家虎太郎さんが久留米市ジュニアスポーツ賞を受賞し、表彰をされました。

